

市民マラソン大会

白い息弾ませ快走



号砲が鳴り響き、勢いよくスタートを切るランナーたち

「2012八幡市民マラソン大会」が12月2日、八幡市民スポーツ公園を発着点に行われました。市内外から集まったランナーたちは寒空の下、白い息を弾ませながら八幡路を駆け抜けました。

同大会は市体育協会などからなる実行委員会が主催。距離や年齢、性別に応じて15種目が設けられ、1504人が参加しました。

親子ペア143組が参加した2時種目では、3歳から小学2年生までの子どもと保護者たちが仲良く手をつなぎながら走り切り、笑顔でゴールしていました。

距離、年齢、性別に応じ15種目



優勝のポーズをきめる北川玲琉君と義久さん

親子ペアで優勝した北川玲琉君(6)と父親の義久さん(31)は「大会に向けて練習した成果が出た。しんどかったけど、力を合わせて走れて楽しかった」と充実感を漂わせていました。

小中学生が地域清掃

約320人が参加

男山第三中学校、さくら小学校、橋本小学校の児童・生徒たちが12月4日、初めて合同で3校のマラソンコースの美化活動に取り組みました。

同活動は4月から始まった小中一貫教育の一環で、小中学生の交流を図ろうと、男山第三中学校生徒会が両小学校の児童会に呼び掛けて実現しました。

中学生と両小学校の児童会役員など約320人が参加。両小学校コースに中学生が

応援に駆け付けました。

約2.5kmの橋本小コースでは参加者たちが3グループに分かれ、側溝や草むらに落ちているごみや空き缶などを拾って回りました。

男山第三中学校生徒会長の足由孝志さん(14)は「タバコの吸い殻の多さに驚いた。初めての試みでしたが、この交流が小学生の感じる中学校生活への不安の軽減につながれば」と期待を込めていました。



ごみを拾って回る小中学生たち

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。



こどもどうぶつえんが

やってきた!

ニワトリを頭にのせてふれあう園児たち

能勢農場の移動動物園「こどもどうぶつえん」が12月3日、橋本幼稚園にやってきました。園児138人は園庭に訪れた羊やウサギなど13種類の動物たちに大はしゃぎでした。

この行事は動物とのふれあいを通じて園児たちに人を思いやる優しい心をほぐくんでもらおう、とPTAがバザーなどの収益金をもとに企画しました。

農場スタッフ2人から「ウサギは目が悪いので口に手を近づけすぎないで」など動物に接する時の注意点の説明を受けた後、園児たちは柵の中に入って動物たちへの餌やりを体験。キャベツや白菜などを小さな掌にのせて「羊さんどうぞ」とおそろのおそろの口元に差し出していました。

また、ニワトリを頭の上のせたり、「かわい、連れて帰りたい」と動物に抱きついたり、優しくなでたりしながら動物たちとふれあっていました。

羊やウサギ 13種とふれあい

おいしくな〜れ♪ 餅つき体験 笑顔咲く

八幡第三幼稚園で12月7日、園児たち57人が市老人クラブ会員たちと一緒に餅つきを行いました。

同園では世代を超えて人との結びつきを強めようと、毎年市老人クラブの協力を得ながら餅つきを行っています。この日は約20人の会員が参加しました。

三角巾とエプロンを身に付けた園児たちは会員からきねの持ち方を教わりながら餅つき開始。

重たいきねに苦戦しながらも「おいしくな〜れ、おいしくな〜れ」と気持ちを込めて「ぺったん、ぺったん」と順番にきねを振りおろしていました。

出来上がったお餅はきな粉やカツオ節を漬け込んだ醤油などで味付けし、会員たちを囲んでいただきました。

岡本楓ちゃん(5)は「きな粉餅が好き。もっともっといっぱい食べたい」と満面の笑みを浮かべながらお餅をほおばっていました。



市老人クラブ会員に見守られながら餅つき体験する園児たち